

2012年萬代橋チューリップフェスティバル



来賓代表の事務所長挨拶



園児達もパレードに参加

去る4月26日(木)に萬代橋西詰のホテルオークラ新潟前で、新潟市主催による「萬代橋チューリップフェスティバル」が開催されました。本フェスティバルは、初代萬代橋の架設百周年の記念として、昭和61年に第一回が開催されて以来、毎年開催を重ね、今年で27回目を迎えました。

新潟駅万代口から萬代橋西詰までの両側歩道が、市内の幼稚園、保育園児等が丹精込めて育て上げた3万本ものチューリップのプランターで彩られました。

オープニングセレモニーでは当事務所長も来賓代表として、主催者の新潟市長の挨拶の後に祝辞を述べました。

オープニングセレモニー終了後、消防音楽隊の伴奏で保育園児による合唱が歌われ賑やかな雰囲気となりました。その後、園児たちは2名のにいがた観光親善大使を先頭に萬代橋上を西詰から東詰までパレードしました。

当日は雲行きも怪しく開催直前までは時折小雨もばらつく生憎の天気でしたが、開催時には天候も何とか持ち直し、今冬の大雪により開花が遅れたやすらぎ堤の桜と共に文字通り桜とチューリップの共演(新潟市長の挨拶)となりました。

本チューリップフェスティバルはGWを挟んで5月10日迄開催され、道路利用者の目を楽しませてくれることでしょう。

なお、フェスティバル期間中は、自転車・歩行者共にチューリップに目を奪われ前方不注意になりがちになりますので、萬代橋上では自転車ご利用の方は押しチャリ(自転車から降りて押しながら歩くこと)をお願いします。

阿賀野市立赤坂小学校3年生が「さわやか活動(総合学習)」で六野瀬横断地下道の掃除を行いました。

5月1日に阿賀野市立赤坂小学校の3年生16名が「さわやか活動(総合学習)」の一環として、一般国道49号六野瀬横断地下道の清掃を行いました。

水原維持出張所からも職員3名が応援にかけつけ、小学生と一緒に清掃を行いました。

横断地下道には、枯れ草や砂が多く積もっていましたが、小学生たちは大きな竹ぼうきと格闘しながらも一生懸命に清掃を行い、清掃が終わった時にはとてもきれいになりました。

清掃終了後は、水原維持出張所から横断地下道に設置されている「防犯ベル」の使い方と今年3月に設置した冠水を知らせる「赤色回転灯」を実験を交えて説明しました。昨年7月に発生した新潟福島豪雨のように大雨となり地下道が冠水するとどうなるか実際に水を溜めて回転灯を点灯し、「10cm冠水すると点灯するので、地下道は通らないで、近くにある交差点の横断歩道を使いましょう」と説明しました。また、防犯ベルの使い方訓練では、「もし地下道のなかで怖い思いをしたときに防犯ベルを押してください」と説明した後、代表の男子児童が非常ベルを押すと、「リリリリ〜」とベルが鳴り、その大きな音にビックリした様子でした。



みんなでクリーン大作戦実行中



大きな竹ぼうきでがんばる姿が印象的でした。



ゴミ袋4個分のごみを集めました。



冠水を知らせる回転灯の実験
(10cmまで水を入れると 回転灯が点灯!)



防犯ベルの使い方訓練
(大きな音にビックリ!)



「赤坂小学校のみなさんのおかげでとてもきれいになりました。」

平成23年度 除雪功労者事務所長表彰並びに局長感謝状披露を行いました



新潟国道事務所長表彰式

新潟国道事務所が管理している直轄国道は、冬季の道路交通を確保するため24時間いつでも除雪作業に出動できる体制をとっています。

今冬は、期間を通じて気温が低く、冬型の気圧配置が続いたため、各地で「平成18(2006)年豪雪」を上回る積雪に見舞われた年となりましたが、除雪関係者の献身的な働きにより、道路交通を確保することが出来ました。

こうした昼夜を分かたぬ作業に永年に渡って従事された除雪機械の運転員の方々の功績を讃えるとともに、除雪従事者の育成強化、除雪体制の維持発展を図るため、毎年、除雪功労者の事務所長表彰を行っています。

23年度は、新潟除雪作業を担当した(株)NIPPO 北信越支店より 関口 和幸さん、水原除雪作業を担当した丸運建設(株)より 佐藤 徳治さんの2名が受賞されました。

5月7日(月)に開催された表彰式では、松本事務所長から2名に表彰状を手渡し、併せて4月27日(金)に北陸地方整備局長より感謝状を受賞された除雪作業請負4社の披露も行い、心からの御礼と感謝の言葉を述べさせて頂きました。

みなさん、おめでとうございます。

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2012042701josetsu.pdf>

安全・安心な交通を確保するために



防災点検の状況

5月14日(月)に、本尊岩地区(東蒲原郡阿賀町大牧から小花地間)の防災点検を実施しました。

今回の点検は、年4回実施している定期点検の初回点検であり、融雪後の落石危険箇所の斜面変状や落石防止網等の防災施設の損傷について確認を行ったものです。

当日は職員のほか、斜面点検業務受注者等を併せ24名が参加し、2班に分かれて険しい斜面に設置された足場を登り、斜面点検業務受注者から、これまで落石・岩石崩壊が繰り返し発生した箇所の説明を受けながら、防災施設の点検を行いました。

点検の結果、雪による小規模な落石は確認されましたが、直ちに国道の通行に影響する岩盤斜面の変状や落石防止網等の異常は発見されませんでした。

新潟国道事務所では、引き続き、24時間体制による監視と、大雨、地震、落石発生時の点検を行い、交通の安全確保に努めていきます。

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2012051001honizoniwa.pdf>

編集・発行・お問い合わせ



国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159(代表) 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL: niikoku@hrr.mlit.go.jp みちナビ新潟: <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>



にいこく 検索